



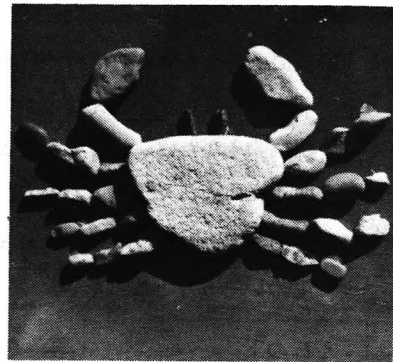
※ ダイナミックな活動をさせるには、「石置き場」を設置し、いろいろな石を貯えておくとよい。

石の色や形の特徴に気付かせる。

例1 ひろってきた石を利用して、いろいろな形をつくる。

※ 図画工作科との合科的な指導が可能

- 屋外で規模の大きな形を作らせる。
 - ・ 共同作業などをさせるのに効果的だが、児童は自分の作りたいものにこだわる。
- 屋内で好きな形を作らせる
 - ・ 合科的な指導が可能で、作品も残すことができる。



※ 作品の残し方

※ ベニア板にコンクリートセメダインで石を接着する。

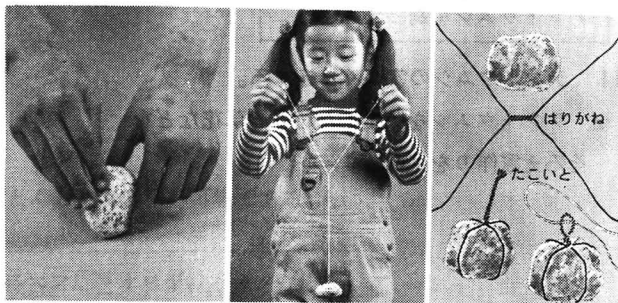
例2 石のなかまわけをする。

※ なかまわけの観点については、児童の独自性をできるだけ尊重する。

石の特徴を利用して、いろいろなものに活用できることを経験させる。
(石に対する認識を深める。)

例 石を使っておもちゃ遊びを工夫させる。

- おはじき
- 石のお面
- 石のペンダントなど



(大日本図書)